



達磨PJ 結成ブレ10周年記念企画 第2弾

# 達磨ニュース

2010年6月26日

達磨プロジェクト

編集局

ドキュメンタリー映画

## 『心理学者 原口鶴子の青春』

～ 100年前のコロンビア大学生が伝えたかったこと ～



企画・プロデュース・脚本・編集・監督 泉悦子 / 制作 (有)テス企画

上川原達磨PJ結成ブレ10周年記念企画第2弾として『心理学者 原口鶴子の青春』（監督：泉悦子）のドキュメンタリー映画の上映会を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

【日時】 7月24日（土）午後7：00

【場所】 達磨亭 （高崎市鼻高町上川原）

【費用】 無料

- 【その他】
- ・上映時間は90分
  - ・参加希望者は直接会場へ
  - ・上川原以外の方も大歓迎

【主催】 達磨プロジェクト（代表 提箸茂）

【問合せ】 達磨PJ 事務局（中村）

携帯 090-5307-8573

（注）この情報は、次の web サイトに掲載されます。

テス企画 <http://www.sepia.dti.ne.jp/tess/tess/>

上川原自治会

<http://www6.ocn.ne.jp/~hanadaka/index.html>

2007年第20回 東京国際女性映画祭招待作品  
あいち国際女性映画祭2008招待作品

2008年第32回山路ふみ子映画賞福祉賞受賞

「一九〇七年明治四〇年移住者とビル高層化ラッシュに湧く紐育に降り立った新井鶴子、二十二歳、五年後、日本人女性初の心理学の博士号を取得する。」

100年前のコロンビア大留学生在が伝えたかったこと

STORY 日本女子大学創立100周年記念事業  
原口鶴子は1886年、群馬県富岡市一ノ宮で生まれた。幼少期に転居した東京での運命的な出会い。鶴子は日本女子大学校英文学部を卒業すると、1907年、心理学を学ぶために単身コロンビア大学留学を決意する。留学教授フーディア博士から、まれにみる才能な女性研究者と評価され、5年後、日本人女性初の心理学の博士号を取得。同じ日に後の早稲田大学教授、原口竹次郎と結婚。

女子寮とイター・ホールでの活躍の日々、ドラマチックな人生が描かれる。大塚、マダム・ワグネルの発見、大塚家ガール一家での1年間のホームステイなど、さまざまな思い・出逢いに導かれ、ついにいつか心に響く。そして、22歳を満、片の結婚を許す。研究、執筆、講演と奮闘に活動が繰り返されていった。

泉悦子 監督作品  
1998年3511/カワコ/DVDM  
2007年傑出作品  
アレーター 大和田 伸也  
鶴子の心 五大 路子  
製作 有限会社 テス企画

STAFF  
企画・プロデュース・脚本・編集・監督 泉悦子  
演出 泉悦子  
撮影 萩原洋介  
音楽 金子文郎  
録音 竹山公一郎ほか

作品サイト <http://www.sepia.dti.ne.jp/tess/>  
【有】テス企画 TEL & FAX 03-5891-0486

この作品は女性心理学者の先駆、原口鶴子の一生をたどったドキュメントです。原口（旧姓新井）鶴子は、富岡市一ノ宮に生まれ。群馬県高等女学校（現県立高崎女子高等学校）の第一回生です。日本女子大卒業後、1907年、単身ニュー・ヨークへわたり、コロンビア大学大学院で日本人女性初の心理学博士を受けました。が帰国し、これからという時、志半ばの29歳でこの世を去りました。

倉賀野出身の心理学者松本亦太郎との出会いも重要な要因の一つです。日本の近代化は、当初、海外の知識を摂取・受容の歴史でありました。期待されて帰国した原口鶴子の余りにも早い夭折を最も無念に思ったのは、ほかならぬ本人自身であったに違いない。【泉悦子及び高階勇輔先生講演会より】



乳飲み子を残し、旅立った原口鶴子の無念の気持ちを思い、映画で多くの人に彼女の存在を知っていただきたいと思いました。【泉悦子】

【写真提供：高崎郷土史会】

# 達磨PJ結成ブレ10周年!